

ロジスティクス強調月間 2024

結果報告書

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会

ロジスティクス強調月間 2024 結果報告書

目 次

ロジスティクス強調月間 2024 プロモーション活動	1
ロジスティクス強調月間 2024 活動概要	5
ロジスティクス強調月間 2024 推進委員会 委員一覧	7
ロジスティクス強調月間 2024 パンフレット	

ロジスティクス強調月間2024 サポーター一覧

(44企業)

(株)IIH	中国通信資材(株)
アセンド(株)	つばさロジスティクス(株)
(株)アライプロバンス	デロイトトーマツコンサルティング(同)
(株)あらた	トーヨーカネツ(株)
SBSリコーロジスティクス(株)	(株)豊田自動織機
(株)NTT ロジスコ	(株)トランストロン
王子物流(株)	日本貨物鉄道(株)
(株)オプティマインド	日本通運(株)
花王(株)	日本電気(株)
(株)KURANDO	日本海事新聞社
(株)構造計画研究所	(株)パーマンコーポレーション
コマツ	パクテラ・テクノロジー・ジャパン(株)
(株)サーガ	(株)フジトランスコーポレーション
サカタウエアハウス(株)	船井総研ロジ(株)
サンコーインダストリー(株)	ホンダロジコム(株)
ジョブコレ(株)	三菱商事(株)
住友重機械搬送システム(株)	三菱倉庫(株)
(株)住友倉庫	村田機械(株)
西部電機(株)	ヤマエ久野(株)
センコーグループホールディングス(株)	(株)ライノス・パブリケーションズ
(株)タイガー	(株)流通研究社
(株)ダイフク	(株)ワールドスタッフィング

ロジスティクス強調月間 2024 プロモーション活動

ロジスティクス強調月間 2024 サポーターのご支援のもと、ロジスティクス全国大会 2024 をはじめとした以下の活動を通じて、ロジスティクスの意識高揚を呼びかけた。

1. ロジスティクス強調月間 2024 特設サイト からの情報発信

日本ロジスティクスシステム協会
JAPAN FEDERATION OF LOGISTICS ASSOCIATION

開催概要 | サポーター | 情報発信 | イベント

ロジスティクス強調月間2024

ロジスティクスで未来を拓く～「変革の意識」がその鍵だ～

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会は、9月・10月をロジスティクス強調月間と定めて、社会全体にロジスティクスの重要性を広める活動を展開します。期間中、最新情報を提供する講演会や、企業や関連部門が連携するための交流会などを行います。ロジスティクス強調月間で学び、つながり、ともに課題解決に取り組みましょう。

ロジスティクス全国大会 ▶
本イベントは終了しました

基調講演
日本電気(株) 執行役 Corporate EVP 兼 CSO 田嶋 圭 氏

企業の経営戦略におけるこれからのサプライチェーン、ロジスティクスのあるべき姿

特別講演
(株)リーダーシップコンサルティング 代表 (スターバックス コーポレーション 元CEO) 初田 和雄 氏
ミッション 経営の原点に戻る

中部ロジスティクス記念講演会 ▶
本イベントは終了しました

記念講演
経済産業省 中部経済産業局員 寺村 英徳 氏

中部の経済と物流・ロジスティクスの現状と課題～持続可能な未来のために～

九州ロジスティクス講演会 ▶
本イベントは終了しました

特別講演
前熊本県知事 東京大学先端科学技術研究センター フェロー 熊島 郁夫 氏
逆境の中にこそ夢がある「不可能」を「可能」に

関西物流改善事例発表会 ▶
本イベントは終了しました

事例発表
センコー(株)・オムロン(株)、佐川グローバルロジスティクス(株)、(株)エヌ・ティ・ティ・ロジスコサービス、(株)アイシン・ロジテックサービス、日本通運(株)、丸二倉庫(株)、クボタロジスティクス(株)、日本貨物鉄道(株)、クビオ京良(株)、(株)コクヨロジテム

特別講演
(株)IXX総合研究所 シニア・コンサルタント(物流AI化戦略担当) 西里 隆司 氏

物流へのAI / 生成AI活用の現在と今後の展望、ディープラーニングを土台とする生成AIという新技術を物流ビジネスにどう活用するか?

ロジスティクス強調月間2024
サポーター一覧

ロジスティクス強調月間2024は、44社のサポーターの支援のもと活動を展開します。

サポーター企業ロゴ一覧:
IHI, ASCEND, ARAI PROVINCE, あらた, SBS リコーロジスティクス, NTTロジスコ, 王子物流株式会社, OPTIMIND, KAO, KURANDO, 株式会社高田野重, KOMATSU, BSAKA, SAKATA, SUNCO, JOB COLLE, SHI, 株式会社住友倉庫, Seibu, SENKO, 株式会社タイガー, DAIFUKU, SLS, TSUBASA HOLDINGS, Deloitte, 日本物流, TOYOTA L&F, transstron, JR, NEX NIPPON EXPRESS, NEC, 日本海新聞, P&M, pactera, FUJITRANS, Funai Screen Logistics, HL HONDA LOGCOM, 三菱商事株式会社, 三菱倉庫, muratec, ヤマエス野, LOGI-BIZ, MATERIAL FLOW, WORLD STAFFING

特集・「ロジスティクス強調月間2024」サポーター情報発信

HOME > 事業案内 > 講演・発表会 > ロジスティクス強調月間 > 特集・「ロジスティクス強調月間2024」サポーター情報発信

日本ロジスティクスシステム協会は、9月・10月をロジスティクス強調月間と定めて、ロジスティクスの重要性を広める活動を展開しています。活動を支えるサポーターには、物流の2024年問題など物流・ロジスティクスの問題を捉え、企業間連携も視野に課題解決に乗り出す企業が集結しました。

本特集では、サポーターから見た物流・ロジスティクスの課題や取り組みを「ロジスティクスで未来を拓く - 「ロジスティクス強調月間2024」サポーターからの提案 -」としてインタビューや寄稿で紹介しています。

「ロジスティクス強調月間2024」サポーター情報発信企業

- ・アセンド株式会社
- ・株式会社オプティマインド
- ・株式会社タイガー
- ・パクテラ・テクノロジージャパン株式会社
- ・船井総研ロジ株式会社

▶ 運送業の業務効率化と経営高度化をITで推進 荷主企業も巻き込み、変革をさらに加速する

・インタビュー
アセンド株式会社 代表取締役社長 日下 瑞貴 氏

「国際物流総合展2024」取材レポート

HOME > 事業案内 > 講演・発表会 > ロジスティクス強調月間 > 「国際物流総合展2024」取材レポート

2024年は我が国の物流にとって、大きな転換点になるのではないのでしょうか。「物流の2024年問題」がネット上のバズワードとなり、物流が抱える課題に対する社会の認知が高まりました。これまで、当たり前になっていた荷物が今後はそうではなく、企業のみならず消費者も、自分ごとと認識し始めていていると感じています。

さらに、タイミングを合わせたように、EC物流のリアルとサスペンスを描いた映画「ラストマイル」が大ヒットしています。公開後28日間の興行収入は約40億円、観客動員は約280万人を突破し、物流の現場の認知を高めています。

こうした中、国際物流総合展2024が9月10日から9月13日の4日間にわたり、東京ビッグサイト（国際展示場）東1～8ホールにおいて開催されました。残量が厳しい中で開催された、国際物流総合展2024の模様についてレポートします。

国際物流総合展 2024
Logis-Tech Tokyo 2024
2024年9月10日(火)～13日(金) 10:00～17:00
東京ビッグサイト(東京国際展示場) 東1～8ホール

2. ロジスティクス強調月間 2024 ポスター、パンフレットなどによる情報発信



9・10月
**ロジスティクス
強調月間2024**

2024年度テーマ **ロジスティクスで未来を拓く ～「変革の意識」がその鍵だ～**

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会は、9月・10月をロジスティクス強調月間と定めて、社会全体にロジスティクスの重要性を広める活動を展開しました。期間中に東京、愛知、大阪、福岡で開催イベントを開催。最新情報を発信し、企業間の交流を行いました。活動をご支援いただいた44社のサポーターをはじめ、ご参加いただいた皆様、厚く御礼申し上げます。

関連イベント

- 9月10日(火)～13日(金) 国際物流総合展2024
- 9月10日(火) 九州ロジスティクス講演会
- 9月10日(火) 関西物流改善事例発表会
- 10月25日(金) 中部ロジスティクス記念講演会
- 10月29日(火) Logistics Meetup
- 10月29日(火)～30日(水) ロジスティクス全国大会

【ロジスティクス強調月間2024 サポーター(※)】

IHI ASCEND ARU PROVINCE あらた SBS リーディングロジスティクス NTTロジスコ

王子物流株式会社 OPTIMIND kao KURANDO 株式会社西田重雄 KOMATSU

3S&A SAKATA SUNCO JOB COLLE SHI 株式会社 住友倉庫

Seibu SENKO センコーグループ T&E 株式会社 タイガー DAIFUKU SLS THYMAS HOLDINGS

Deloitte 株式会社 日経ロジ 株式会社 L&F transiron JR NEX NIPPON EXPRESS

NEC 日本海事新聞 THE ASIAN NAVIGATOR pactera FUJITSU FUNAI SOKEN Logistics

HL HONDA LOGICOM 三井物産株式会社 三菱倉庫 muratec ヤマエ 久野 LOGI-BIZ

MATERIAL FLOW 月刊マテリアルフロー WORLD STAFFING

(※) サポーター：ロジスティクス強調月間2024の活動をご支援いただいた企業

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会 JLS総合研究所 〒105-0022 東京都港区海岸 1-15-1 スズエビビル3F E-mail: fukyu@logistics.or.jp



**ロジスティクス
強調月間2024**

ロジスティクスで未来を拓く～「変革の意識」がその鍵だ～ **9・10月**

基調講演
持続可能で豊かな社会の実現に向けて
～企業の経営戦略におけるこれからのサプライチェーン、ロジスティクスのあるべき姿(仮)～
日本電気株式会社 執行役員 Corporate EVP 兼 CSO 田原 龍孝 氏

特別講演
ミッション
～経営の原点に戻る～
株式会社リーディングコンサルティング 代表 (スターバックス コーヒー ジャパン) 株式会社 元CEO 岩田 松雄 氏

記念講演
中部の経済と物流・ロジスティクスの現状と課題
～持続可能な未来のために～
経済産業省 中部経済産業局長 寺村 英信 氏

特別講演
逆境の中にもこそ夢がある「不可能」を「可能」に
前橋本橋知事 東京大学先端科学技術研究センターフェロー 蒲島 郁夫 氏

特別講演
物流へのAI/生成AI活用の現状と今後の展望
ディープラーニングを土台とする生成AIという新技術を物流ビジネスにどう活用するか?
株式会社XO総合研究所 リーディングコンサルティングユニット3 シニアコンサルタント(物流AI化戦略担当) 宮里 隆司 氏

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会では、創立以来、毎年ロジスティクス強調月間を定めております。産官学の協力を得て、全国規模でプロモーション活動を展開することにより、産業界をはじめ社会全体にロジスティクスの意義を普及・推進いたします。

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会 JAPAN INSTITUTE OF LOGISTICS SYSTEMS

3. 専門誌・専門紙への広告掲載

- 1) 月刊マテリアルフロー(発行:株式会社流通研究社)
- 2) 月刊ロジスティクス・ビジネス(発行:株式会社ライノス・パブリケーションズ)
- 3) 日本海事新聞(発行:株式会社日本海事新聞社)
- 4) 機関誌ロジスティクスシステム(発行:公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会)

4. 専門誌・専門紙への記事掲載

- 1) カーゴニュース(掲載元:株式会社カーゴ・ジャパン)
- 2) 機関誌ロジスティクスシステム(発行:公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会)

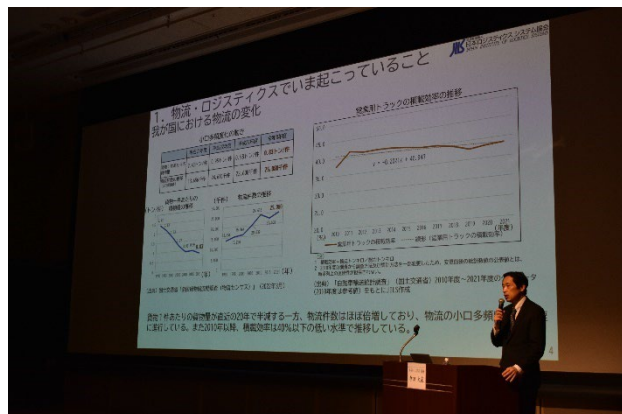
5. ニュースリリース配信(PR TIMES、プレスリリースなど)による WEB メディアへの掲載

- 1) ニコニコニュース
- 2) ニフティニュース(@nifty ニュース)
- 3) リビング大阪 Web
- 4) リビング東京 Web
- 5) @nifty ビジネス
- 6) 毎日新聞デジタル
- 7) めざまし media(めざましメディア)
- 8) 愛媛新聞 ONLINE
- 9) STRAIGHT PRESS(ストレートプレス)
- 10) 朝日新聞デジタルマガジン&[and]

- 11)大分合同新聞プレミアムオンライン Gate
- 12)南日本新聞
- 13)茨城新聞クロスアイ
- 14)AGARA 紀伊民報
- 15)宮崎日日新聞社 Miyanichi e-press
- 16)山口新聞
- 17)BIGLOBE ニュース
- 18)現代ビジネス
- 19)さんにち Eye 山梨日日新聞電子版
- 20)さんたつ by 散歩の達人
- 21)中国新聞デジタル
- 22)中日新聞 × PR TIMES
- 23)TRAICY(トライシー)
- 24)エキサイトニュース
- 25)eltha(エルザ)
- 26)とれまがニュース
- 27)NewsPicks
- 28)SEOTOOLS
- 29)暮らしニスタ(クラシニスタ)
- 30)アキバ経済新聞
- 31)Infoseek ニュース(インフォシークニュース)
- 32)東洋経済オンライン
- 33)時事ドットコム
- 34)PRESIDENT Online(プレジデントオンライン)
- 35)JBpress(ジェイビープレス)
- 36)日本橋経済新聞
- 37)練馬経済新聞
- 38)池袋経済新聞
- 39)高円寺経済新聞
- 40)中野経済新聞
- 41)BtoB プラットフォーム 業界チャンネル
- 42)iza(イザ!)
- 43)新宿経済新聞
- 44)シブヤ経済新聞
- 45)赤坂経済新聞
- 46)銀座経済新聞
- 47)品川経済新聞
- 48)六本木経済新聞
- 49)市ヶ谷経済新聞
- 50)名駅経済新聞
- 51)サカエ経済新聞
- 52)下北沢経済新聞
- 53)東京ベイ経済新聞
- 54)八王子経済新聞
- 55)調布経済新聞
- 56)自由が丘経済新聞

- 57) 吉祥寺経済新聞
- 58) 立川経済新聞
- 59) CREA WEB(クレア ウェブ)
- 60) @DIME(アットダイム)
- 61) 産経ニュース
- 62) ジョルダンニュース！
- 63) LOGISTICS TODAY
- 64) 物流ニュース LNEWS
- 65) 流通ニュース

6. ロジスティクス強調月間 2024 各イベント開催の様子



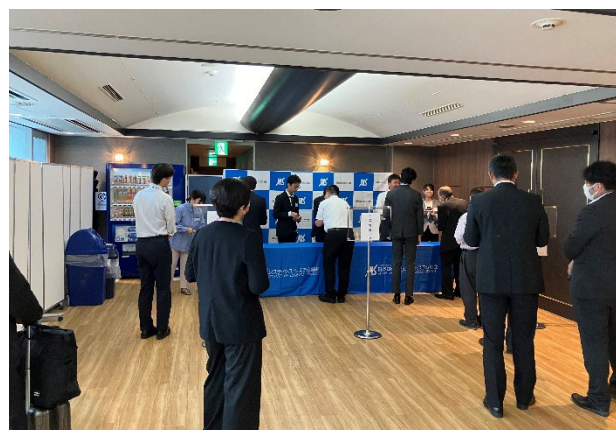
ロジスティクス全国大会 2024



交流イベント Logistics Meetup



中部ロジスティクス記念講演会 交流会



関西物流改善事例発表会 2024 名刺交換会



九州ロジスティクス講演会 2024

ロジスティクス強調月間 2024 活動概要

1. 趣旨:

ロジスティクス強調月間は、社会全体へロジスティクスの重要性をより強力に普及推進するために、特定の月間を定め啓発を行うものである。

2. 主催:公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会

3. 企画・運営:ロジスティクス強調月間 2024 推進委員会

4. 期間:2024 年 9 月および 10 月

5. 統一テーマ:

ロジスティクスで未来を拓く～「変革の意識」がその鍵だ～

6. 内 容:

1)各媒体の活用による情報発信

特設サイトおよび協会機関誌などから情報発信を行い、ロジスティクス意識高揚を呼びかけた。

(1)ロジスティクスで未来を拓く-ロジスティクス強調月間 2024 サポーターからの提案-

サポーターにロジスティクスの課題やソリューションをインタビューなどで伺い発信をした。

(2)「国際物流総合展 2024」取材レポート

国際物流総合展 2024 の会場を取材し、展示会の様子や出展ブースの傾向などから読み取れる物流の動向などを記事にした。

2)報道機関との連携

報道機関と連携したキャンペーン展開を目的として、以下の通りニュースリリース配信を行った。

(1)報道関係者へ、ニュースリリースの掲載依頼を行った。

(2)ニュースリリース配信サービス(PR TIMES)を利用し、配信を行った。

3)ポスター、パンフレット媒体の活用

(1)JILS 会員企業(※)へ、ロジスティクス強調月間 2024 のパンフレットを配布し、ロジスティクス強調月間 2024 の案内と、関連イベントへの参加の呼びかけを図った。

(※)JILS 会員企業 約 1,000 社 登録者約 3,000 名

(2)JILS 関連イベントでロジスティクス強調月間 2024 のポスターを掲示して意識高揚を図った。

4)メールマガジンの活用

JILS 会員企業、事業利用者などが登録するメールマガジン「JILS 通信」にてロジスティクス強調月間 2024 に関する情報発信を行った。

・メールマガジン登録件数 約 170,000 件

・配信回数 16 回(内、ロジスティクス強調月間 2024 の特集・関連イベントの専用配信は 12 回)

5)ロジスティクス強調月間 2024 の関連イベントの実施

ロジスティクスの意義の普及推進のため、講演会、事例発表会、交流会を開催した。

九州ロジスティクス講演会 2024

- (1)会期:2024 年 10 月 7 日(月)
- (2)会場:リファレンス駅東ビル
- (3)申込人数:74 名

関西物流改善事例発表会 2024

- (1)会期:2024 年 10 月 17 日(木)
- (2)会場: TKP ガーデンシティ大阪リバーサイドホテル
- (3)申込人数:173 名

中部ロジスティクス記念講演会

- (1)会期:2024 年 10 月 25 日(金)
- (2)会場: 名古屋商工会議所
- (3)申込人数:88 名

ロジスティクス全国大会 2024

- (1)会期:2024 年10月29 日(火)・30 日(水)
- (2)会場:ベルサール神田
- (3)申込人数:261 名(2 日間合計)

Logistics Meetup

- (1)会期:2024 年10月29 日(火)
- (2)会場:ベルサール神田
- (3)参加人数:約 150 名

各イベントのプログラムはロジスティクス強調月間 2024 パンフレットに掲載

7)国際物流総合展 2024 の開催

ロジスティクス強調月間 2024 の催しの一環として、ロジスティクス・物流に関する内外の最新物流機器・システム・情報等のソフトやハードが一堂に結集する専門展示会「国際物流総合展 2024」を開催した。

会期:2024 年 9 月 10 日(火)~13 日(金) 各日 10:00~17:00

会場:東京ビッグサイト(東京国際展示場) 東 1~8 ホール

総来場登録者数:84,193 名

8)サポーター制度

ロジスティクス強調月間について、気運を盛り上げ、ロジスティクス普及活動の活性化を図るため、サポーター制度を設けた。サポーター企業については、JILS ホームページ、各専門誌広告等に企業名、企業ロゴ等を掲載し紹介した。サポーター企業には 44 社に参画いただいた。

以 上

ロジスティクス強調月間 2024 推進委員会 委員一覧

(順不同・敬称略)※所属・役職名は 10 月 1 日時点

1	委員長	早稲田大学	吉本 一穂	名誉教授
2	副委員長	コクヨ(株)	宮澤 典友	執行役員 ビジネスサプライ事業本部長 (株)カウネット 代表取締役社長
3	副委員長	日本通運(株)	鷺川 陽一	安全・品質・業務推進部長
4	委員	(株)あらた	大原 康一	ロジスティクス本部 室長
5	委員	イオン(株)	手塚 大輔	執行役 物流担当
6	委員	(株)NTTデータ	田口 基	第三公共事業本部 デジタルプラットフォーム事業部 第一システム統括部 第一営業担当 部長
7	委員	大塚倉庫(株)	阿部 直弘	コネクティッド本部 課長
8	委員	(株)オプティマインド	松下 健	代表取締役社長
9	委員	経済産業省	平林 孝之	商務・サービスグループ 物流企画室 室長
10	委員	国土交通省	紺野 博行	物流・自動車局 物流政策課長
11	委員	佐川急便(株)	竹下 博士	東京本社 CSR 推進部 CSR 推進課 課長
12	委員	(株)ダイフク	高光 巧一	広報部 参与
13	委員	東京都市大学	大久保寛基	デザイン・データ科学部 デザイン・データ科学科 教授
14	委員	トラスコ中山(株)	半田 尚也	物流本部 物流改革部 部長
15	委員	日本貨物鉄道(株)	高橋 秀仁	執行役員 鉄道ロジスティクス本部 営業統括部長
16	委員	日本郵便(株)	嶋津 泰毅	ロジスティクス事業部 部長
17	委員	日本マクドナルド(株)	南 真人	サプライチェーン本部 ロジスティクス部 統括マネージャー
18	委員	NEXT Logistics Japan(株)	中條 太	幹線輸送事業本部 本部長 (兼 仲間つくり Div Div マネージャー)
19	委員	(株)バローホールディングス	上口 隆一	流通技術本部 物流部 部長
20	委員	(株)バンダイロジパル	小泉秋桜子	執行役員 グローバル事業本部 グローバル統括部 ゼネラルマネージャー
21	委員	丸紅ロジスティクス(株)	山田 洋之	常務執行役員
22	委員	三菱商事(株)	中西 心紀	S.L.C グループ 食品流通・物流本部 物流開発部 物流効率化チーム チームリーダー
23	委員	(株)吉野家ホールディングス	幸重 太亮	グループ商品本部 商品統括部 部長
24	委員	ライオン(株)	木村 忠彦	サプライチェーン企画本部 副本部長 兼 ロジスティクス政策部長

ロジスティクス 強調月間2024

ロジスティクスで未来を拓く～「変革の意識」がその鍵だ～

9 10 月

全国大会



基調講演

持続可能で豊かな社会の実現に向けて

～企業の経営戦略におけるこれからのサプライチェーン、
ロジスティクスのあるべき姿(仮)～

日本電気株式会社 執行役 Corporate EVP 兼 CSCO

田熊 範孝 氏



特別講演

ミッション

～経営の原点に戻る～

株式会社リーダーシップコンサルティング 代表
(スターバックス コーヒー ジャパン株式会社 元CEO)

岩田 松雄 氏

中部



記念講演

中部の経済と 物流・ロジスティクスの現状と課題

～持続可能な未来のために～

経済産業省 中部経済産業局長

寺村 英信 氏

九州



特別講演

逆境の中にこそ夢がある 「不可能」を「可能」に

前熊本県知事
東京大学先端科学技術研究センターフェロー

蒲島 郁夫 氏

事例発表

センコー株式会社／オムロン株式会社／佐川グローバルロジスティクス株式会社
株式会社エヌ・ティ・ティ・ロジスコサービス／株式会社アイシン・ロジテックサービス
日本通運株式会社／丸二倉庫株式会社／クボタロジスティクス株式会社
日本貨物鉄道株式会社 関西支社／タビオ奈良株式会社／株式会社コクヨロジテム

関西



特別講演

物流へのAI / 生成AI活用の現在と今後の展望

ディープラーニングを土台とする生成AIという新技術を
物流ビジネスにどう活用するか？

株式会社NX総合研究所
リサーチ&コンサルティングユニット3
シニア・コンサルタント(物流AI化戦略担当) 宮里 隆司 氏

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会
では、創立以来、毎年ロジスティクス強調月間
を定めております。

産官学の協力を得て、全国規模でプロモーション
活動を展開することにより、産業界をはじめ
社会全体にロジスティクスの意義を普及・推進
いたします。



ロジスティクス強調月間とは

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会は、9月・10月をロジスティクス強調月間と定めて、社会全体にロジスティクスの重要性を広める活動を展開します。期間中、最新情報を提供する講演会や、企業や関連部門が連携するための交流会などを行います。ロジスティクス強調月間で学び、つながり、ともに課題解決に取り組みましょう。

関連イベント

- | | | |
|----------------------------------|---|-----------------------------------|
| ▶ 9月10日(火)～13日(金)
国際物流総合展2024 | ⋮ | ▶ 10月25日(金)
中部ロジスティクス記念講演会 |
| ▶ 10月7日(月)
九州ロジスティクス講演会 | ⋮ | ▶ 10月29日(火)
Logistics Meetup |
| ▶ 10月17日(木)
関西物流改善事例発表会 | ⋮ | ▶ 10月29日(火)～30日(水)
ロジスティクス全国大会 |

ロジスティクス強調月間 2024 サポーター一覧

ロジスティクス強調月間2024は、44社の

IHI

ASCEND
アセンド株式会社

ARAI PROVANCE

あらた

SBS リコーロジスティクス
For Your Dreams.

NTTロジスコ

王子物流株式会社

OPTIMIND

Kao
きれいをここに未来に

KURANDO

構造計画研究所
KOZO KEIKAKU ENGINEERING Inc.

KOMATSU

SAGA
株式会社サーガ

SAKATA
サカタウエアハウス株式会社

SUNCO

JOB COLLE

SHI
住友重機械搬送システム株式会社

時代をつなぐ。世界をむすぶ。
住友倉庫

超精密とメカトロメーションを追求する
Seibu

SENKO
センコーグループ

Tiger
株式会社タイガー

DAIFUKU

SLS

TSUBASA HOLDINGS

「ロジスティクス強調月間2024」実施にあたって

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会では、毎年「ロジスティクス強調月間」を設け、産業界をはじめ社会全体へロジスティクスの意義を普及啓発するための活動を展開しております。本年は、9月、10月を強調月間と定め、「ロジスティクスで未来を拓く～変革の意識がその鍵だ～」を統一テーマとして、44社のサポーターのご協力のもと活動を展開してまいります。その一環として、最新情報やソリューションを発信する、ロジスティクス全国大会2024、および中部・関西・九州各地区におけるロジスティクス講演会、物流現場改善事例発表会を開催いたします。また、ロジスティクス全国大会2024の併設開催としてLogistics Meetup 2024を開催。ロジスティクス関係者が一同に会し交流する場をつくり、未来につながるネットワーク作りを支援します。皆様の積極的なご参加を、心よりお待ちしております。

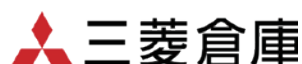


ロジスティクス強調月間2024
推進委員会 委員長

吉本 一穂

早稲田大学 名誉教授（理工学術院）
専門分野：経営デザイン／
ロジスティクス設計

サポーターの支援のもと活動を展開します。



ロジスティクス全国大会 プログラム

2024年10月29日火

10:00 } 10:05	開会挨拶	ロジスティクス強調月間推進委員会 委員長（早稲田大学 名誉教授）	吉本 一穂
10:05 } 10:20	主催者挨拶	2024年、意識と行動の変革でロジスティクスを推進	公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会 専務理事 寺田 大泉
基調講演【全経営層向け】			
セッションコーディネータ：ロジスティクス強調月間2024推進委員			
10:20 } 11:20	基調講演	持続可能で豊かな社会の実現に向けて ～企業の経営戦略におけるこれからのサプライチェーン、 ロジスティクスのあるべき姿(仮)～ 産業界においては、物流の2024年問題への対応や、特定荷主への物流統括管理者の設置等、経営戦略の一端に位置付けられる様々な事案への対応が求められている。また、持続可能な社会の実現に向けた企業経営が求められるなか、当社は「CSCO」を選任し、グループ全体のサステナブルなサプライチェーンの構築に取り組んできている。一方、本取り組みから見えてきた課題に対し、現在CSCO機能のTOBEに向け改革に着手している。サステナブルな経営に向けた取り組みの詳細や今後のビジョン等について共有する。 日本電気株式会社 執行役 Corporate EVP 兼 CSCO 田熊 範孝 氏	
休憩10分			
企業講演【経営層、管理者向け】			
11:30 } 12:10	企業講演 1	業界物流情報基盤(ロジスティクスEDI)を活用した 日用品業界の物流改革 日用品業界は、従来よりメーカー共同物流を実施するなど物流の最適化・効率化に取り組んでいる。このほど、製・配・販のサプライチェーンにおいて物流デジタル化が遅れていたメーカー・卸売業間において、業界標準のロジスティクスEDIをベースに、事前出荷情報(ASN)に基づく検品レス・伝票レス等の物流改革の取組が、日用品業界全体の動きとして進んでおり、取組内容（進捗）、今後の取組テーマと推進体制について報告する。 ライオン株式会社 サプライチェーン企画本部 副本部長 兼 ロジスティクス政策部長 木村 忠彦 氏	
昼休憩60分			
13:10 } 13:50	企業講演 2	業界主導で実現する物流の適正化・生産性向上 ～化学品業界～ フィジカルインターネット実現会議に化学品WGが発足して2年目を迎える。業界内外で取り組む商慣行改善、輸送モード別やエリア別の共同化検討に加えて、物流標準化・データ活用を進める実証実験に取り組んでいる。関係省庁・業界団体との連携、WGの運営・合意形成、荷主・物流事業者間の会話など精力的に取り組む中で、今後のハードルも見えてきた。 フィジカルインターネット実現会議 化学品WG 三菱ケミカル株式会社 購買・物流本部 企画戦略部 SC業務統合プロジェクトリーダー 高谷 秀史 氏 フィジカルインターネット実現会議 化学品WG デロイト トーマツ コンサルティング合同会社 Operations Industry & Domain Solutions Specialist Director 清水 裕久 氏	 

休憩10分

企業講演【管理者向け】

14:00
～
14:40

企業
講演
3

イノベーション推進に向けた要諦とは ～物流の高度化を実現するヤマトグループの取り組み～

物流の2024年問題をはじめ、物流・ロジスティクス領域に山積する課題解決に向け、ヤマトグループではステークホルダーとの連携も含め、消費者のニーズに応える新サービスを次々と開発してきた。またヤマトグループでは社内にCVC（コーポレートベンチャーファンド）を設立し、スタートアップとの共創など様々なイノベーションの取り組みを行っている。また2024年問題を含めた社会課題解決にも取り組んでいる。このような取り組みを踏まえ、企業がイノベーションを推進するための要諦について発表する。

ヤマト運輸株式会社 兼 ヤマトホールディングス株式会社
イノベーション推進部長 兼 イノベーション推進機能 シニアマネージャー

齊藤 泰裕 氏



14:40
～
15:20

企業
講演
4

NXグループの物流DXが推進するサステナブルな未来

本講演では、物流業界を取り巻く課題や新たなニーズを整理し、DXによって達成すべき当社のゴールをご説明する。次にこれまでの実績として、当社のDXに関する戦略や人財育成・ナレッジ共有等の推進体制の構築に関する取り組みをご紹介します。そして既存事業の改革や新規事業の創造等に関する事例をご紹介します。本講演を通じ、当社が目指す変革とサステナビリティ課題への貢献について、ご理解を深めていただければ幸いです。

NIPPON EXPRESSホールディングス株式会社
執行役員 DX推進部担当 兼 DX推進部長

天白 淳 氏



休憩15分

対話型セッション【経営層、管理者向け】

セッションコーディネータ：ロジスティクス強調月間2024推進委員

パネルディスカッション

【セッションテーマ】

物流・ロジスティクスの革新へ ～これからの物流統括管理者のあるべき姿～

物流統括管理者の役割やミッション、今後のあるべき姿等について、発着荷主企業の取り組み、行政動向等をふまえながら、クロストーク形式で討議する。

【パネリスト】

キューピー株式会社 執行役員 ロジスティクス本部 本部長

ユニテッド・スーパーマーケット・ホールディングス株式会社 経営企画本部 物流企画部長

経済産業省 商務・サービスグループ 物流企画室 室長

国土交通省 物流・自動車局 物流政策課 課長

【コーディネータ】

株式会社野村総合研究所 アーバンイノベーションコンサルティング部 プリンシパル

前田 賢司 氏
鈴木 惣一郎 氏
平林 孝之 氏
紺野 博行 氏
森川 健 氏

17:20
～
18:30

交流会

Logistics Meetup（立食形式による懇親会）

※都合により講演者、テーマ等、プログラムが変更になる場合がございます。

10:00 } 10:05	開 会
2024年度ロジスティクス大賞 受賞記念講演【管理者向け】	
10:05 } 10:10	2024年度ロジスティクス大賞について 【コーディネータ】横浜国立大学 大学院 国際社会科学研究院 教授 (ロジスティクス大賞 ノミネート委員会 委員長) 鈴木 定省
10:10 } 10:55	【2024年度ロジスティクス大賞 グリーン物流奨励賞】 食品物流の未来を担う中距離帯鉄道輸送の可能性 ネスレ日本株式会社 物流部 プロセスオペティマイザー 田中 健太 氏  日本貨物鉄道株式会社 ロジスティクス本部 営業部 サブリーダー 福岡 大輔 氏  【選考事由】物流分野では、気候変動対策の遅れとトラックドライバー不足が深刻化し、トラック輸送だけに依存するビジネスモデルの限界が露呈し、持続可能性が模索されている。本取り組みでは、ネスレ日本株式会社、日本貨物鉄道株式会社、全国通運株式会社、日本運輸倉庫株式会社の協働により、食品の中距離輸送に鉄道を活用するモデルケースを実現している。大阪エリアを対象にした安定供給を目指し、毎日40コンテナを静岡から大阪へ輸送し、鉄道のリードタイムを考慮した生産・在庫計画の連動、DXを活用したシステム連携を実現することで、約10億円の販売機会ロスを防ぎ、年間900トンのCO₂排出削減、年間4000台分のトラック輸送シフトで24,000時間の労働時間削減を達成している。他エリア、他業種への鉄道輸送拡大の可能性も十分に期待されるなどモーダルシフトによるグリーン物流、ロジスティクス活動の持続可能性といった面が高く評価された。
休憩10分	
11:05 } 11:50	【2024年度ロジスティクス大賞 人材育成奨励賞】 物流事業に対する、多能工物流人材育成における自動車学校の果たせる社会的機能 有限会社網干自動車教習所 前任顧問 田中 幸雄 氏  【選考事由】自動車学校業界は、若年層の自動車離れの加速や経営難に直面する一方、物流分野では人材不足が深刻化している。本取り組みでは、個人が主たる対象顧客であった従来のビジネスに対し、大型車やフォークリフトなどの資格取得と物流現場に即した職務訓練を提供し、認定職業訓練機関として、物流事業者にも多能工人材を供給する事業を展開するとともに、ISO21001認証を取得し、教育訓練の品質を担保している。物流事業者に対し、必要なスキルを持つ多能工人材を安定的供給することに寄与するとともに、シルバー世代の経験豊富な指導者の登用や新たな労働市場の開拓や福祉行政との連携促進など、多方面にわたる人材育成、地域や業界に対する貢献が高く評価された。
昼休憩60分	
12:50 } 13:35	【2024年度ロジスティクス大賞 業界革新特別賞】 鹿島建設による物流効率化の取り組み ～運送マッチングと物流センター中継システムの構築～ 鹿島建設株式会社 横浜支店 建築部 建築工事管理グループ 課長代理 倉本 太一 氏  【選考事由】建設現場では「低積載」や「空荷」といった非効率な状態が頻発しており、物流分野の労働力不足も相まって、効率的な物流の実現が喫緊の課題とされている。本取り組みでは、運送マッチングアプリといった、ブラウザ上で運送会社と荷主を結びつけるプラットフォームの開発、活用により空荷の削減や積載率向上が行われ、CO₂排出量の削減や待機時間の短縮を実現している。また、物流センター中継システムの導入により、効果的な物流業務が実現されている。これにより、運送会社は新たな顧客を獲得し、専門工事会社は運送会社選択の幅が広がり、総合建設会社は工期遵守が容易になるなど、多方面にわたる成果が得られている。個社のみならず、建設・物流分野全体の業務の効果的効率化が実現している点、また、他業種への応用可能性といった革新性が高く評価された。
休憩10分	

13:45 ↓ 14:30	【2024年度ロジスティクス大賞 技術革新特別賞】 画像情報を活用した化粧品新製品予測モデルの構築による廃棄ロス削減 花王株式会社 SCM部門 デジタルイノベーションプロジェクト データサイエンティスト 箕輪 映友子 氏 【選考事由】化粧品の需要予測は、色や質感が販売数量に大きく影響するため、従来の統計的手法が適用しにくく、感覚や経験に基づいた予測が主流であった。このため、予測作業の人的負荷が大きく、属人化が進行していた。特にメイクアップ品は色展開が多く、生産リードタイムも長いため、廃棄ロスが増加する傾向があった。本取り組みでは、対象ブランドに関して、店舗データ、画像処理技術、テキストマイニングや機械学習を駆使するとともに、従来の人による予測手法を踏襲することで予測結果の解釈や理解度の向上といった点も加味した新たな予測モデルの構築に成功している。生産数量、材料発注量の予測精度がそれぞれ85%、55%が向上し、廃棄金額も25%削減されるなど、人的負荷の軽減と属人化の解消といった業務効率と廃棄ロス削減といった環境負荷の両面の効果による技術面での革新度が高く評価された。 
休憩5分 2024年度ロジスティクス大賞 表彰式	
14:35 ↓ 14:50	2024年度ロジスティクス大賞 表彰式 【プレゼンター】公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会 会長 (コマツ 取締役会長) 大橋 徹二
コーヒープレイク30分(参加者交流タイム) 企業講演【管理者向け】	
セッションコーディネータ：ロジスティクス強調月間2024推進委員	
15:20 ↓ 16:00 企業講演 5	ドローン物流の実用化に取り組む国内外の事例と課題 国内のドローン物流市場は2040年までに数兆円規模に成長することが見込まれているが、現状国内ではドローンの目視外飛行による配送にはさまざまな課題があり、技術実証の域を出ていない。本講演では、エアロダインググループが関わった日本での物流実証実験から見てきた課題と海外ですでに商用化している事例を紹介し、国内での実用化に向けて、物流業界と考えていきたい課題について問題提起を行う。 エアロダイングジャパン株式会社 代表取締役社長 鹿谷 幸史 氏 
休憩5分 特別講演【経営層向け】	
16:05 ↓ 17:05 特別講演	ミッション ～経営の原点に戻る～ 企業は何のためにあるのか？企業経営にとって大切なことは、会社の存在理由である「ミッション」を社内の隅々までに浸透させることである。なぜミッションが大切なのか？「ミッション経営」とその効果についてお話する。そのミッションを愚直なまで一所懸命に実行しようとしている具体的な事例としてスターバックスについてお話しする。そして「これからのリーダーに求められるもの」について、熱く語る。 株式会社リーダーシップコンサルティング 代表 (スターバックス コーヒー ジャパン株式会社 元CEO) 岩田 松雄 氏 
17:05 ↓ 17:10	閉会挨拶 ロジスティクス強調月間推進委員会 副委員長

中部ロジスティクス記念講演会 プログラム

2024年10月25日(金)

14:00 ～ 14:05	開会 挨拶	公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会 中部支部運営委員会 委員長 (朝日大学 経営学部 教授)	土井 義夫
14:05 ～ 14:20	主催者 挨拶	2024年、意識と行動の変革でロジスティクスを推進 公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会 専務理事	寺田 大泉
14:20 ～ 15:10	記念 講演	中部の経済と物流・ロジスティクスの現状と課題 ～持続可能な未来のために～ 1) 中部経済の特徴と環境変化 2) 物流革新に向けた行政の動きと中部地域におけるロジスティクスの課題 3) 荷主企業向けの必要な対応について 4) 中部地域におけるサプライチェーン維持に必要な対策	経済産業省 中部経済産業局長 寺村 英信 氏 
休憩10分			
15:20 ～ 16:05	講演 1	北陸コカ・コーラボトリングにおけるリスク管理とBCP対応 ～令和6年能登半島地震における取組みから課題と今後に向けて～ ・危機管理委員会の対応とプライオリティ ・課題と今後	北陸コカ・コーラボトリング株式会社 執行役員 経営サポート推進室室長 小橋 史佳 氏 
休憩10分			
16:15 ～ 17:00	講演 2	経営課題としての物流危機対応 ～持続可能な物流を目指すYKK APの取組み～ ・弊社の事業内容とおかれている環境 ・建材物流の特徴と課題 ドライバー拘束時間、重量物、労働力不足 等 ・課題解決のための取組み（組織、DX、共同物流等）と今後の対応	YKK AP株式会社 ロジスティクス部 物流DX推進室 室長 四柳 博之 氏 
17:00 ～ 18:30		〈記念レセプション〉立食形式による懇親会	

※都合により講演者、テーマ等、プログラムが変更になる場合がございます。

九州ロジスティクス講演会 プログラム

2024年10月7日(月)

13:30 ～ 13:40	開会	九州・山口地域ロジスティクス委員会 委員長 (株式会社安川ロジステック 代表取締役社長)	小関 幸治
13:40 ～ 13:55	主催者 挨拶	2024年、意識と行動の変革でロジスティクスを推進 公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会 専務理事	寺田 大泉
14:00 ～ 15:00	特別 講演	逆境の中にこそ夢がある「不可能」を「可能」に ・半生を通じた哲学 ・蒲島県政の枠組み～3つの政治～ ・自然災害からの創造的復興を超えて（半導体誘致、産業集積等） 前熊本県知事 東京大学先端科学技術研究センター フェロー 蒲島 郁夫 氏 ■略歴 1965年 4月 稲田村農業協同組合 勤務 1968年 6月 アメリカ合衆国渡航（派米農業研修生） 1974年 5月 ネブラスカ大学農学部 卒業 1979年11月 ハーバード大学大学院修了（政治経済学博士） 1980年 9月 筑波大学社会学系 講師 1984年 4月 ワシントン大学国際問題研究所 客員准教授 1984年 6月 プリンストン大学国際問題研究所 客員研究員 1985年11月 筑波大学社会学系 助教授 1991年 4月 筑波大学社会学系 教授 1996年 4月 筑波大学大学院国際政治経済学研究科 研究科長 1997年 4月 東京大学大学院法学政治学研究科 教授 2007年 8月 熊本県立大学 客員教授（2008年3月まで） 2008年 4月 熊本県知事（2024年4月まで、4期） 2023年 4月 九州地方知事会長（2024年4月まで） 2024年 4月 東京大学先端科学技術研究センター フェロー	
休憩10分			
15:10 ～ 16:10	講演 1	アサヒグループ2024年問題の取り組み ・2024年問題の取組み ・倉庫の取組み（拠点配置・九州域内の再編） ・輸送の取組み（モーダルシフト等） アサヒロジ株式会社 西日本支社営業部 部長 世戸 武男 氏	
休憩10分			
16:20 ～ 17:20	講演 2	持続可能な物流へ向けての取り組み ・同業他社を巻き込んだ「水平連携」（F-LINEプロジェクトやSBM会議） ・サプライチェーン全体を巻き込んだ「垂直連携」、そして国を巻き込んだ「斜め連携」 ・更なる持続可能な物流プラットフォーム構築を目指すために 味の素株式会社 食品事業本部 物流企画部 部長 森 正子 氏	
17:20 ～ 17:30	閉会	九州・山口地域ロジスティクス委員会 副委員長 (中村学園大学流通科学部 特任教授・九州大学 名誉教授)	星野 裕志

※都合により講演者、テーマ等、プログラムが変更になる場合がございます。

関西物流改善事例発表会 プログラム

2024年10月17日 木

9:30 ～ 9:35	開会 挨拶	関西物流改善事例発表会2024 実行委員会委員長 オムロン株式会社 グローバル購買・品質・物流本部 物流統轄室 経営基幹職 高田 充康
9:35 ～ 9:50	JILSの 講演	2024年、意識と行動の変革でロジスティクスを推進 公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会 専務理事 寺田 大泉
9:50 ～ 10:15	事例 発表 1	荷主と物流パートナーとの物流費削減に向けた協働プロジェクト センコー株式会社 阪神主管支店 尼崎PDセンター 窪田 竜太郎 氏／福田 直人 氏 オムロン株式会社 グローバル購買・品質・物流本部 物流統轄室 国内物流部 プロセス革新グループ 山口 敦也 氏 物流費削減に向けた荷主との協働プロジェクトを開始、ブレインストーミングを重ねるなかですぐに実施ができる17件を対象として2024年4月 から12月を改善実施期間として実行中。これまでの改善活動により、事務所工数：60時間/月削減、入荷作業工数：60時間/月削減、検品作業 工数：5名削減などを実現した。
10:15 ～ 10:40	事例 発表 2	立体型ソーター(オムニソーター)で帳票仕分(品質改善+生産性UP) 佐川グローバルロジスティクス株式会社 関西エリア 東大阪SRC 係長 大坪 末季 氏 物流センターにおける帳票のテレコという出荷ミスをなくすため、これまで商品の仕分けのみを行っていたオムニソーターにて帳票の仕分けを実施。 作業工程を見直し、帳票を後発行から先発行へ変えることで品質面だけでなく作業効率も大幅にUP、これにより月間616人時の削減を実現した。
休憩20分／事例発表1・2の名刺交換		
11:00 ～ 11:25	事例 発表 3	フォークリフトオペレータの作業整理、 軽作業標準化および多能工化推進による効率化/総稼働の削減 株式会社エヌ・ティ・ティ・ロジスコサービス 八尾物流センター 上野 真悠華 氏 八尾物流センター 吉留 優子 氏 フォークオペレータ（以下、FO）の恒常的な残業発生かつ採用困難な環境のもと、FO作業を分析しフォーク作業と軽作業に切り分け、軽作業手 順の整理、ツール活用等により誰でもできる作業に標準化し分担。OJT/多能工化推進により総稼働が前年比3割減となり、3PLとして波動等に柔 軟に対応できる仕組みの定着化と効率化を実現した。
11:25 ～ 11:50	事例 発表 4	コンベア連結台車導入による作業者にやさしい工程の実現 株式会社アイシン・ロジテックサービス 物流部 物流企画G 担当員 成田 允伸 氏 弊社物流センターでは受入れ部品を保管エリアに受け渡す際にコンベアを使用している。 このコンベアからの部品の取出しはパワーリフターを使用していたが、操作性と電池持ちなど課題があったため、コンベア連結台車を製作し工程 フローを見直すことで工数低減（▲3.9人/日）と歩車分離された安全な工程を実現した。
昼休み70分／事例発表3・4の名刺交換		
13:00 ～ 13:25	事例 発表 5	VR(仮想現実)ソリューションを用いた倉庫立ち上げ方法の改善 ～レイアウト設計、安全・運用トレーニングの未来像～ 日本通運株式会社 大阪支店コーポレートソリューション部 ロジスティクス・オペレーション企画G 小山 尚輝 氏 VRソリューションを用いたレイアウト設計およびプレゼンの刷新に取り組んだ。従来はレイアウトの設計・レビューを2次元の平面図で行って いたため、立体としての倉庫を説明するのが難しかった。そこで3D機能を用いて3次元で作成したレイアウトで説明することで、イメージが伝わりや すくなるとともに、より安全に配慮した倉庫レイアウトの作成が可能となった。
13:25 ～ 13:50	事例 発表 6	現場の出来る化、分かる化、見える化でピッキングの精度UPを実現 丸二倉庫株式会社 OBL PLAZA 主任 岡本 大介 氏 OBL PLAZA 的場 弘成 氏 一日平均2,500～3,000件の出荷業務があり、ピッキングミス、ピッキング時の探し物により作業が停滞することがあった。また、初心者へのピッ キング精度UPも課題となっていた。当社の取組みテーマである「出来る化」「分かる化」「見える化」による商品の配置見直し、小物商品保管見直し、 棚入れ（戻し）の工夫やピッキングツールの開発をおこなった結果、探し物件数の削減（30%減）、ピッキングミス件数の削減（8%減）を実現した。

13:50 ～ 14:15	事例 発表 7	Logistics課題と社会課題の解決を目指した 専用パレットの開発・導入とその先へ ～高負荷作業撲滅と環境負荷低減活動推進の両立をめざして～ クボタロジスティクス株式会社 事業管理部 袈川 真子 氏 製品積み下ろしの際に発生していた高負荷・危険作業の撲滅を積載効率を落とさず実行するtoolとして、製品形状に合わせた専用サイズパレットを開発・導入することで推進上の課題であった積載効率の低下を回避し実行に結び付けた。 また、各部門でカートンパレットの弱点であった強度確保に取り組み、固縛素材の見直し・ラッシング材の使用量低減といった環境負荷低減の諸活動に発展させ、全社的な「LogisticsにおけるSDGsの実行」に向け踏み出した。
休憩20分／事例発表5～7の名刺交換		
14:35 ～ 15:00	事例 発表 8	外観検査の見える化を行うアプリケーションの開発 日本貨物鉄道株式会社 関西支社 広島車両所 車両技術係 福田 太志 氏 広島車両所 車両係 時實 拓紀 氏 当事業所では「良質な車両の提供」の方針のもと貨物列車の機関車・貨車の全般検査（オーバーホール）を実施しているが、検査担当者の見逃しや錯誤といったリスクは避けられなかった。そこで、業務用スマートフォンを活用して外観検査の見える化が可能となるシステムを開発・導入した結果、ヒューマンエラーに起因する車両故障が2022年度の9件から2023年度は4件まで減少した。
15:00 ～ 15:25	事例 発表 9	通販出荷繁忙時における受注商品の 仕分け作業負担の軽減と生産性の向上 タビオ奈良株式会社 物流部 新物流チーム・メカニカル・エンジニア 森川 貴文 氏 通販受注が多い時期、人海戦術での仕分けは負担が大きく、負担軽減策の企画立案と生産性の向上が急務であった。そこで作業者の負担を軽減するため棚の間口番号プレートにPCと連動させ光らせることで、すぐに棚を見つけられる仕組みを考案した。その結果、棚を探す時間を短縮することができ、仕分け時間が約25%改善した。
15:25 ～ 15:50	事例 発表 10	多様な人が活躍できる働き方改革へ ～フレキシブルハイブリッドワーク～ 株式会社コクヨロジテム お納め本部 副本部長 城 将司 氏 経営統括本部経営管理部人事グループ グループ長 土田 将史 氏 物流業界および自社において労働力不足に直面している状況にあり、人材維持・獲得のため多様な人が働きやすい環境を整える必要性があった。そこで、物流センターでは時間のフレキシブル化（フルフレックスタイム制度導入）、オフィス勤務者では働く場所の拡大（出社と在宅ワークのハイブリッド運用）を行った結果、ワークライフバランスの向上などの成果につながった。
15:50 ～ 15:55		各発表者に記念品贈呈
休憩20分／事例発表8～10の名刺交換		
16:15 ～ 17:15	特別 講演	物流へのAI/生成AI活用の現在と今後の展望 ディープラーニングを土台とする生成AIという新技術を物流ビジネスに どう活用するか？ ・生成AIはディープラーニングによって学んだことから魔法のように文章や画像を生み出す。 ・従来のAIや生成AIは物流ビジネスにどのように活用されているか。 ・生成AIの進化は物流ビジネスにどのような影響を与えるか。 株式会社N X 総合研究所 リサーチ&コンサルティングユニット3 シニア・コンサルタント(物流AI化戦略担当) 宮里 隆司 氏  ■略歴 九州大卒。1980年、日揮入社。2002年、ユーキャン入社。2012年、脳機能分野のIT開発スタートアップを起業。2016年、NX総合研究所入社。2019年、物流AI化コンサルティング部門の立ち上げに伴いAI/DX戦略担当。2021年に「改革・改善のための戦略デザイン 自治体DX」を、2022年に「改革・改善のための戦略デザイン 小売業DX」を秀和システムより出版する。現在は、AFJ日本農業経営大学校イノベーター養成アカデミー客員教授を兼務。
17:15 ～ 17:20	閉会 挨拶	関西支部運営委員会 委員長 ダイキン工業株式会社 物流本部 物流本部長 生地 幹

※都合により講演者、テーマ等、プログラムが変更になる場合がございます。

Logistics Meetup 2024

—— ロジスティクス関係者が集う大交流会 ——

Logistics Meetup 2024は、全国からロジスティクスの関係者が一同に会する大交流会です。未来につながるネットワークを形成し、課題解決の促進を目指します。立食形式で開催予定です。

【日時】 2024年10月29日（火）
17:20～18:30

【会場】 ベルサール神田（東京都千代田区）
※ロジスティクス全国大会2024 DAY1終了後に開催

参加対象者

- ・ロジスティクス強調月間2024の関係者（サポーター、推進委員、各地区委員など）
- ・ロジスティクス全国大会2024の登壇者（一部）
- ・ロジスティクス全国大会2024の1日目の参加者



上記の方々は招待または無料で参加いただけます。

ロジスティクス全国大会2024の1日目の参加者には、ロジスティクス全国大会2024にお申し込みをいただいた後、別途ご参加の受付を行います。

定員（150名）に達しましたら受付を終了します。開催前に定員に空きがある場合のみ、有料で一般参加の申込受付を告知する予定です。

検索

ロジスティクス強調月間



ロジスティクス全国大会

【会期】 2024年10月29日（火）・30日（水）

【会場】 ベルサール神田（会場参加のみ）

【定員】 各日200名

【参加料】

	1日参加	両日参加
JILS会員	24,200円	40,700円
JILS会員外	38,500円	66,000円

※1日参加はDAY1、DAY2どちらかのみ。

関西物流改善事例発表会

【会期】 2024年10月17日（木）

【会場】 大阪リバーサイドホテル、Zoomウェビナー

【定員】 150名

【参加料】

	参加料金
JILS会員	16,500円
JILS会員外	25,300円

※上記料金には、昼食代は含まれておりません。

中部ロジスティクス記念講演会

【会期】 2024年10月25日（金）

【会場】 名古屋商工会議所、Zoomウェビナー

【定員】 180名

【参加料】

	参加料金
JILS会員	8,800円
JILS会員外	17,600円

九州ロジスティクス講演会

【会期】 2024年10月7日（月）

【会場】 リファレンス駅東ビル、Zoomウェビナー

【定員】 80名

【参加料】

	参加料金
JILS会員	8,800円
JILS会員外	16,500円

◆参加料は全て1名あたりの価格で消費税込。会場参加・オンライン参加ともに同価格です。◆

——お問い合わせ——
公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会
J I L S 総合研究所 坂口

〒105-0022 東京都港区海岸 1-15-1 スズエベイディウム 3F
E-mail : sakaguchi@logistics.or.jp
URL : <https://www1.logistics.or.jp>